

ソーシャルワーク視点による精神障害者のための就労支援研修

受講者アンケート結果報告

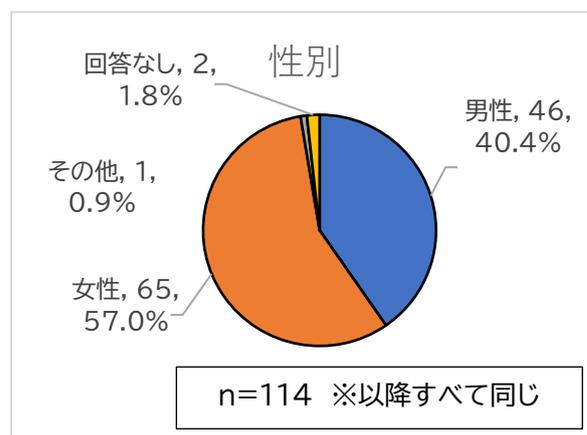
研修受講者に対して、本研修の効果測定及び今後の本協会事業活動の参考にすることを目的に、アンケート調査を実施した。研修の資料と共にアンケート用紙を配付し、研修終了後に回収した。2会場合わせての受講者 121 人のうち 114 人が回答、回収率は 94.2%であった。

集計結果について以下のとおり報告する。

1. あなたご自身についてお伺いします（任意記入）

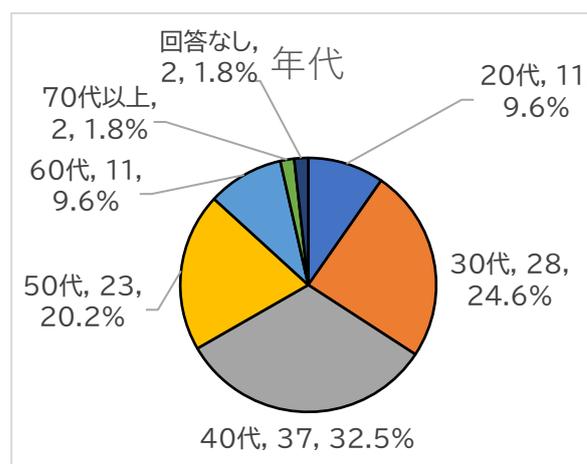
1. 性別

回答者の性別をみると、男性 40.4%、女性 57.0%であり、女性の方がやや多かった。



2. 年代

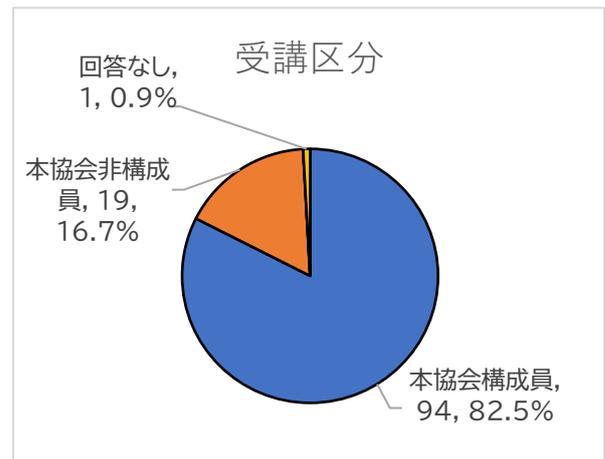
回答者の年齢層は、20代 9.6%、30代 24.6%、40代 32.5%、50代 20.2%、60代 9.6%、70代 1.8%であり、幅広い年代から参加いただけた。



3. 受講区分

回答者の受講区分は82.5%が協会構成員であり、非構成員は16.7%であった。

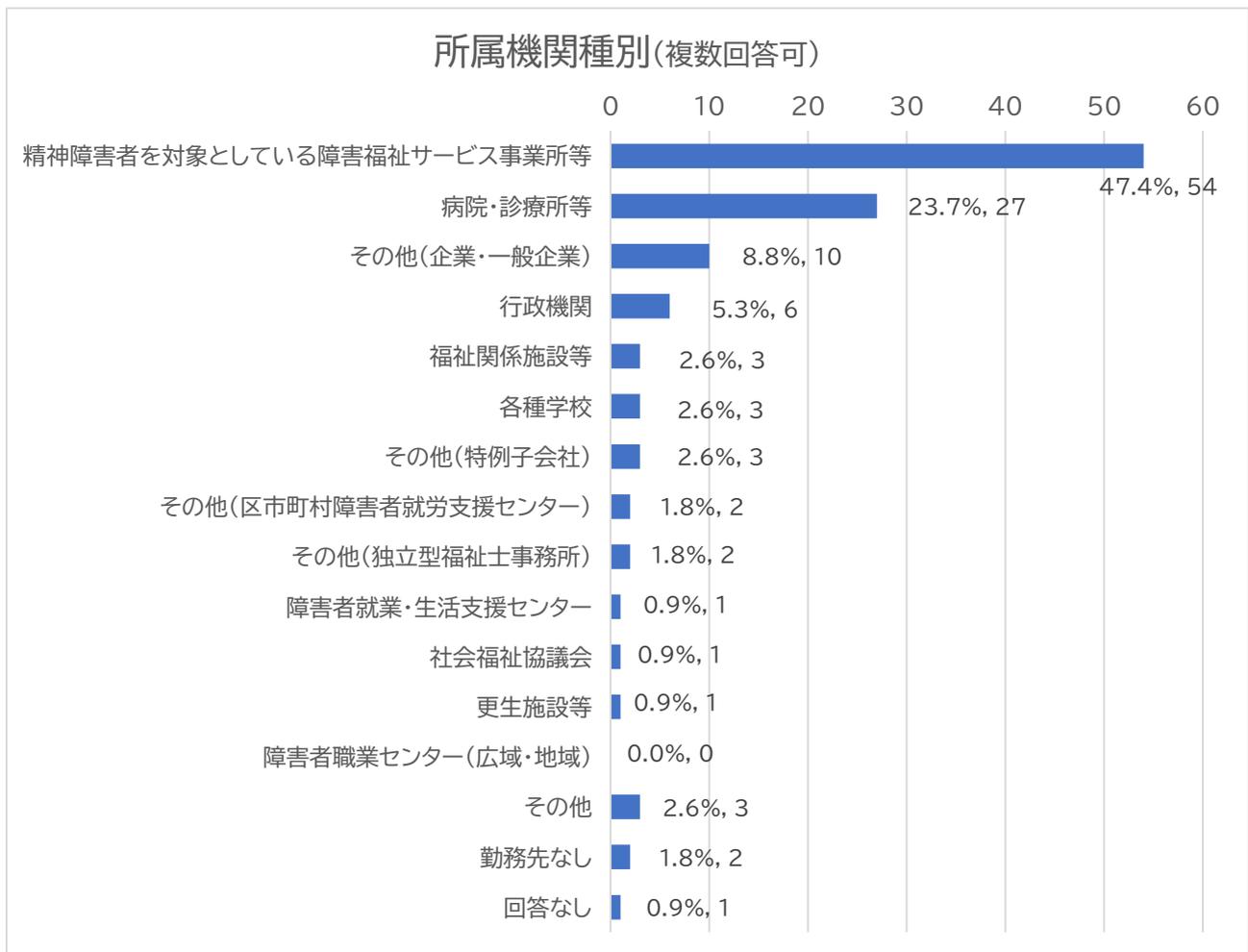
勤務先機関から複数名受講申込があるなど、関心の高さと研修への意欲が感じられた。



4. 所属機関種別 (複数回答可)

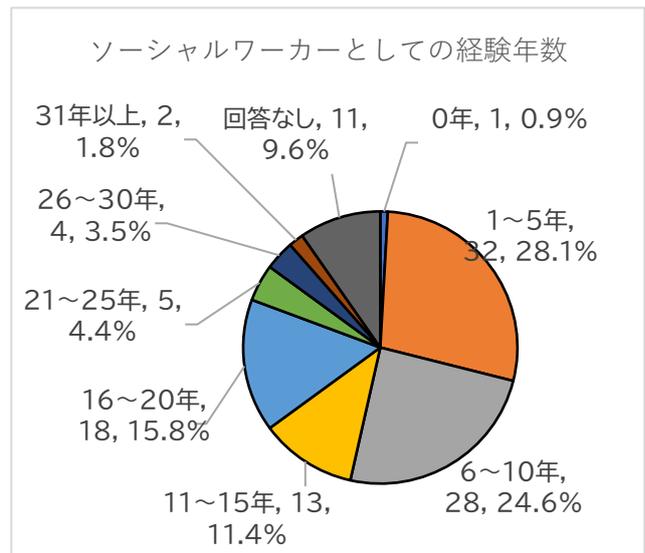
回答者の所属機関種別は、上位から、精神障害者を対象としている障害福祉サービス事業所等が47.4%、病院・診療所等が23.7%であった。次いで「企業・一般企業」が8.8%となった(アンケート上では「その他」回答に含まれたが、回答数が多かったためグラフ上は別建てとした)。

病院・診療所等を始め、行政機関や直接就労支援業務にあたらぬ分野の参加者も一定数おり、就労支援に関心を持たれている様子が分かった。



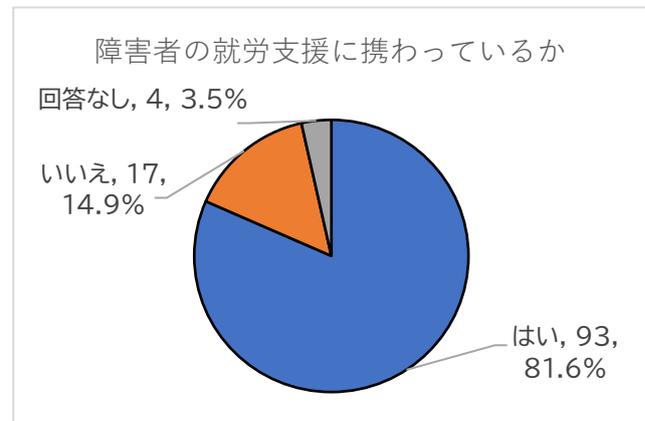
5. ソーシャルワーカーとしての経験年数

回答者のソーシャルワーカーとしての経験年数は、グラフの通りであった。1～5年が28.1%、6～10年が24.6%で、10年までの経験者で半数を占めた。他は広くそれ以上に経験のある方であった。



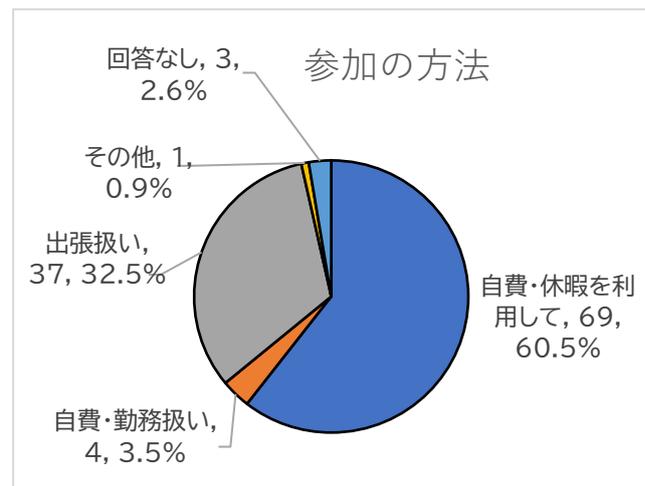
6. あなたは、現在障害者の就労支援に携わっていますか

回答者が現在障害者の就労支援に携わっているかは、「はい」81.6%、「いいえ」及び「回答なし」が18.4%であった。



7. 研修参加の方法

回答者の研修参加方法は、上位から「自費・休暇を利用して」が60.5%、「出張扱い」が32.5%であった。

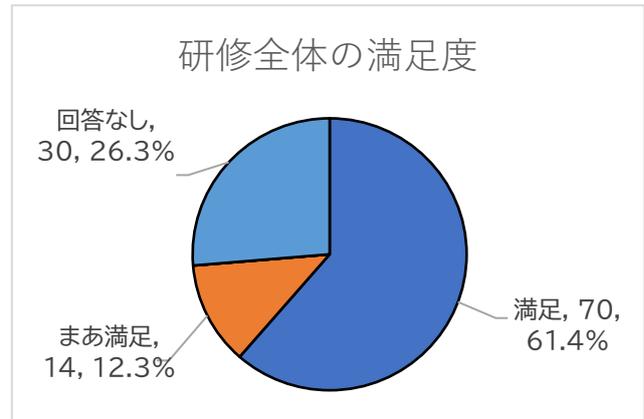


II. 研修内容に関するモニタリング

1. 研修全体のあなた自身の「満足度」をお答えください。

「満足」(61.4%)、「まあ満足」(12.3%)で、満足と回答した者は73%にのぼった。また、「やや不満」「不満」と回答した者はいなかった。満足度の高い研修を提供できたと考える。

「回答なし」の者が30人(26.3%)いたが、続いての設問には回答している。



2. プログラムごとに、あなた自身の理解度について5段階で評価してください。

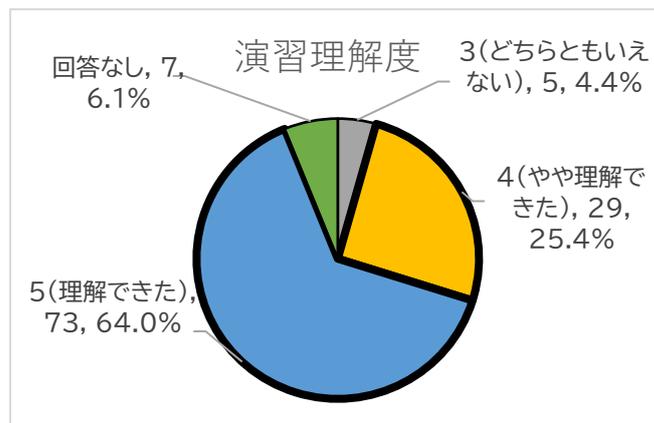
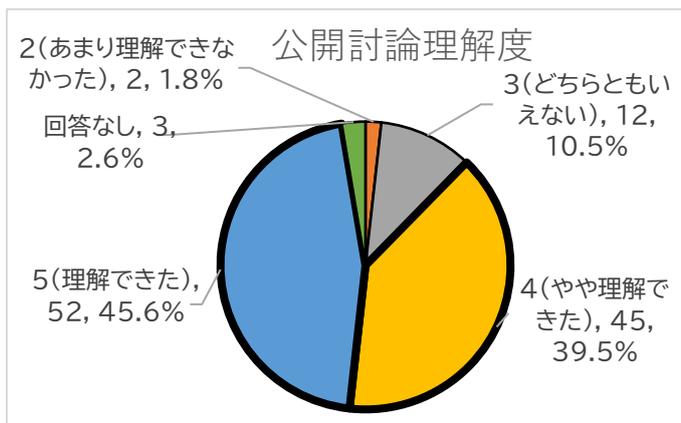
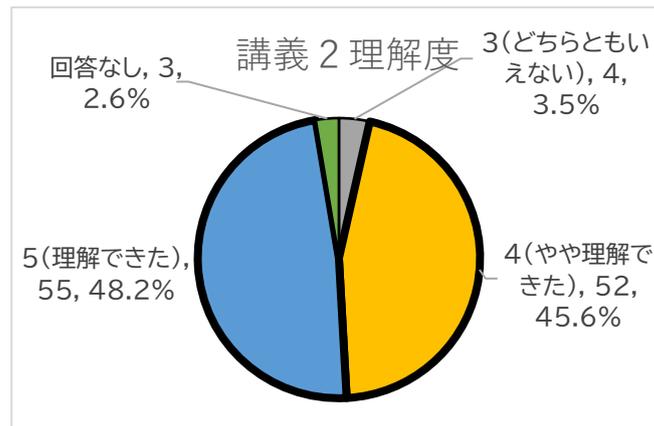
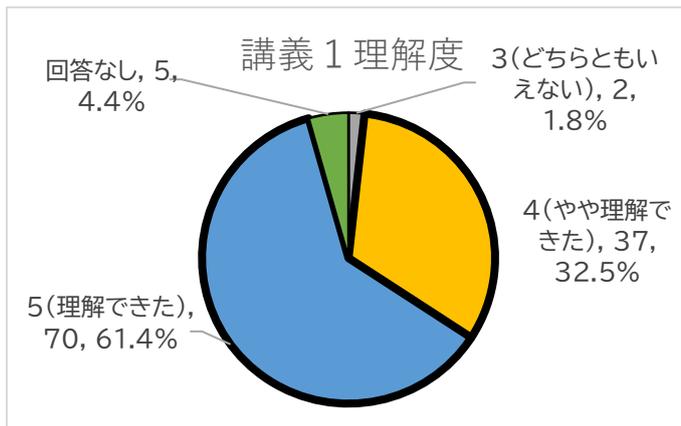
全体満足度の他に、プログラムごとの効果を測るため、受講者の理解度を尋ねた。

「5 (理解できた)」「4 (やや理解できた)」と回答した者が講義1・講義2では90%を超え、公開討論は85.1%、演習は89.4%であった。

公開討論については「3 (どちらともいえない)」が12人(10.5%)、「4 (あまり理解できなかった)」が2人(1.8%)と他のプログラムよりも受け取り方に悩んだ様子が伺えたが、今回の研修における公開討論は、演習に向けて「各々、就労支援に関する問題意識を呼び起こす」「支援におけるモヤモヤに気づく」といったことを目的のひとつにした位置づけであったため、主催側の意図が伝わった結果ではないかと推察できた。(研修カリキュラムについては別添報告に譲る)

(人)

	1(理解できなかった)	2(あまり理解できなかった)	3(どちらともいえない)	4(やや理解できた)	5(理解できた)	回答なし	小計
講義1	0	0	2	37	70	5	114
講義2	0	0	4	52	55	3	114
公開討論	0	2	12	45	52	3	114
演習	0	0	5	29	73	7	114



以上

研修受講者アンケート項目

2024/1/13 東京都会場

公益社団法人日本精神保健福祉士協会／2023 年度日本財団助成事業
課題別研修 ソーシャルワーク視点による精神障害者のための就労支援研修
受講者アンケート

本アンケートは、本研修の効果測定として日本財団への報告に使用させていただくほか、就労・雇用支援の在り方検討委員会におきましても事業の参考とさせていただく目的で実施しています。ご協力の程お願い申し上げます。

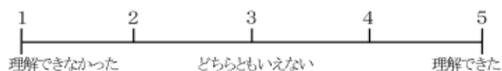
I. あなたご自身についてお伺いします(任意記入)

- 性別 ()
- 年代
① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代以上
- 受講区分
① 本協会構成員 ② 本協会非構成員 ③ 本協会学生会員
- 所属機関種別(複数回答可)
① 精神障害者を対象としている障害福祉サービス事業所等
② 障害者職業センター(広域・地域)
③ 障害者就業・生活支援センター ④ 病院・診療所等 ⑤ 認知症疾患医療センター
⑥ 行政機関 ⑦ 高齢者対象施設等 ⑧ 福祉関係施設等
⑨ 社会福祉協議会 ⑩ 発達障害者支援センター ⑪ 各種学校
⑫ ホームレス支援 ⑬ 更生施設等
⑭ その他() ⑮ 勤務先なし
- ソーシャルワーカーとしての経験年数
()年
- あなたは、現在障害者の就労支援に携わっていますか
① はい ② いいえ
- 参加の方法について伺います。
① 自費・休暇を利用して ② 自費・勤務扱い ③ 出張扱い ④ その他()

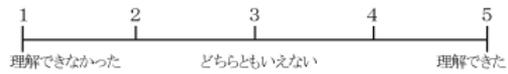
II. 研修内容に関するモニタリング

- 研修全体のあなた自身の「満足度」をお答えください。
① 満足 ② まあ満足 ③ やや不満 ④ 不満
- プログラムごとに、あなた自身の理解度について5段階で評価してください。
また、それぞれのプログラムを通して気付かれたこと、今後のご自身の実践に適用していけそうだと感じられたことがあればご自由にお書きください。

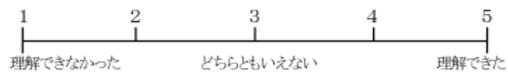
講義1「総論：ソーシャルワークの視点と就労・雇用支援」



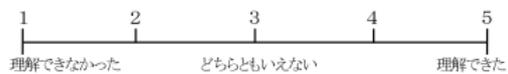
講義2「各論：ソーシャルワーカーのための就労支援ハンドブック」



公開討論「就労支援におけるソーシャルワークの視点を考える」



演習「ソーシャルワーク視点による精神障害者のための就労支援」



3. その他、何かございましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました